

資料4 就労の問題(困難)と関連要因に関する質的研究(1)

著者	目的	対象者背景	データ 収集方法	分析方法	【就労上の問題(困難)】と関連要因
Carlson- Green [36] 2009, アメリ カ	以下の6領域について、体験、心配事を当事者の視点から明らかにし、先行研究と比較して新たな知見を得る。 ①社会的/情緒的適応 ②保険 ③晩期合併症(神経認知機能) ④セクシュアリティと関係性 ⑤就労 ⑥病気, 治療, 晩期合併症に関する情報を得る場	小児脳腫瘍(N=11) 性別:- 診断時年齢:- 調査時年齢:平均=28.4(範囲23-33)	フォーカス グループイ ンタビュー	イデオグラ フィックア プローチと ノモセ ティックア プローチの 組み合わせ	⑥【希望の職に就くことができない】 <u>仕事をするための十分な体力がない</u>
Kirchhoff et al. [37] 2013, アメリ カ	雇用主提供医療保険(ESI:Employer-sponsored health insurance)をうける難しさ, ESI受給者の就労の問題を明らかにする.	複数のがん種(N=32) 女性50% ESIあり(N=18) 調査時年齢:平均=32.3(SD=5.1) ESIなし(N=14) 調査時年齢:平均=33.5(SD=6.8)	電話による インデブス インタ ビュー	内容分析	【ESIを受給できる求職がない】 <u>パートタイムでしか働けない</u> 【経験者と配偶者の転職困難・キャリアアップ困難】 <u>現職で得られているESIを失いたくない</u> 【ESI受給を継続できるかという不安】 <u>健康問題により十分な労働時間を確保し続けることができるか不確かである</u> <u>がん罹患経験を雇用主に知られることによるESI取消しの可能性がある</u>
Parsons et al. [38] 2008, カナダ	①病気体験を記述する ②病気体験の文脈における復職体験を記述する	骨肉腫(四肢温存かつ化学療法実施)(N=14) 女性42.9% 診断時年齢:- (範囲16-35) 調査時年齢:- (範囲18-38)	個別面接に よるインデ ブスインタ ビュー	グラウン デッドセオ リーの	②【復職が困難である】 <u>配偶者や両親のサポートの有無(経済面も含む)</u> <u>障害給付と失業保険の有無</u> <u>雇用主等からの病気休暇の有無</u> <u>就業配慮の有無</u>

資料4 就労の問題(困難)と関連要因に関する質的研究(2)

著者	目的	対象者背景	データ 収集方法	分析方法	【就労上の問題(困難)】と関連要因
Raque- Bogdan et al. [39] 2015, アメリ カ	①がん罹患がキャリア開発に与える影響 ②がん罹患が仕事生活に与える影響と問題、 ③②の問題への対処を明らかにする。	乳がん経験者(N = 13) 女性100% 診断時年齢: -(範囲:21-38) 調査時年齢: -(範囲:24-43)	半構造化イ ンタビュー	合議制質的 分析法	②【就労継続の意思決定に関する困難】 収入, 保険の必要性 他者(パートナー/配偶者, 医療者, 同病者)によるサポート ②【病气開示に伴う困難】 働く上での偏見 病气開示後に仕事を得られるか心配 ②【職務遂行困難】 身体症状が仕事に与える影響(倦怠感/睡眠障害, 疼痛/不快症状, 移動の問題/痺れ) 情緒の問題による生産性の障害(ネガティブな気分, 外見変化への対応) 認知の問題(記憶と集中力の障害/コミュニケーションのトラブル) 対人関係への影響(同僚や雇用者との関係, 副作用と労働環境の調整) ②【治療期間の仕事量やスケジュール管理困難】 仕事の調整に努力を要する 仕事を調整することへの否定的感情

性別, 診断時年齢(平均, SD, 中央値, 範囲), 調査時年齢(平均, SD, 中央値, 範囲)について, 文献に記載のないものは「-」とした。